

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確に文章化することができている。
- 文章全体と部分との関係に注目して、物語の全体像を捉えることができている。
- 自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。

【数 学】

- 整数がもつ特徴について、文字式を使って説明することができている。
- あらゆる事象を想定し、特定の事象がおこる確率を求めることができている。
- 一次関数についての理解に課題がある。

【理 科】

- 実験や観察でわかったことを、簡潔にまとめることができている。
- 電気回路の仕組みを理解し、身の回りの電気の活用について説明することができている。
- 水生生物を観察して特徴を捉えたり、他の生物の特徴と比較したりする力に課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 人の役に立つ人間になりたいという思いが強い。
- 将来の夢や目標をもっている生徒の割合が高い。
- PCやタブレットなどのICT機器を使って制作したり、情報を収集したりすることに自信がある生徒が多い。
- 家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が多い。
- 学習したことを、次の学習に結びつけて考えたり、生かしたりする力に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 生徒自ら課題を発見し、学び方を工夫することができるような生徒主体の授業づくりを考える教科部会の実施
- ・ 定期考査前の補充学習としての「質問教室」の実施
- ・ ICTを活用した授業や言語活動の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 生徒自らが学び方や学ぶ内容を選択して取り組む、授業の「個別最適化」
- ・ 生徒の実態に応じた効果的なモジュール学習の実施

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 地域と連携したボランティア活動の企画・運営と生徒の積極的な参加
- ・ 総合的な学習の時間の「起業家教育」や「先輩から学ぶ会」の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 「立腰」「鍛ほめ福岡メソッド(鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす)」を大切にした教育活動の推進
- ・ 家庭学習のすすめ方(学び方)の習得と習慣化を図るための学習支援の工夫